



心地いい場所

自分の安心できる心地いい空間で
自分の好きなことをして過ごす。

これってすごく大事です。

生産性も上がるし、寿命ものびる。
学習能力も上がります。
創造性もアップ!

私たちだって、
怖い上司に怒られながら仕事するより
優しい上司に、適切に
教えてもらったほうが
萎縮しないですよ。

それは子供でも大人でも
高齢者でも認知症になっても
同じです。



家で不穩になってしまう人も
病院でゆったり過ごす
不穩が軽くなることもある。

だから、安心できる心地いい、
好きなことができる空間を
提供しましょう。

自分ではできなくても、
それに近い環境を探して
プロに頼むこともできます。

介護する側も
安心できる心地いい
好きなことができる空間を
確保しましょう。

介護は「誰がみるか」より
「どうやってみるか」なのです。

もえこの +1
アドバイス

以前、介護している男性が
話していたこと

「介護って親からの最後のプレゼント」

そこまで思えなくてもいいけど、
せっかくの機会だから
絆を深められるといいですね。

「みんなの認知症介護をハッピーに」は、林炎子さん公式ブログ
「家族で支える認知症ケア」より抜粋、参照しています。



「どんより介護からハッピー介護へ
もっと楽になる考え方を伝えたい!」
林 炎子 (もえこ) さん
(日本アタッチメント協会 代表)

認知症になっても大丈夫。

認知症があっても大丈夫。



看護師で認知症介護歴32年の林炎子さんは、
認知症介護に携わってきた経験や知識を一人
でも多くの方に知ってほしいと、
「目からうろこの認知症セミナー」を開催さ
れています。

<http://ninchishouch.jp/wp>

いつでもどこでも
かけつける
あなたの家の
救急隊!

★電気工事全般★
★水道工事全般★
★エアコン工事全般★

てんき・お灸・エアコン
でんきとあつとエアコンの
(株)太田電機工業所

阿久根店 阿久根市南町65-4 TEL 73-2800 | 出水店 出水市大野町304 TEL 63-1966
ホームページ <http://oota-denki.com/> 阿久根市のホームページからアクセスできます。



ケア・リフォーム 暖家だんけ
(電話 0996-73-2073)
<http://danke-care.com/>
CRS (ケア・リフォーム・システム研究会) 会員

住まいが変われば 生き方が変わる!

生きることは
喜び!

あなたの暮らしを
安全・安心・快適に!
変えます。創ります。支えます。



～高齢者や障がい者(児)のための ほっと笑顔工房～

ケア・リフォーム 暖家だんけ

ReLife り・らいふ通信

～暮らし・生活・住環境を見つめなおして～

(株)太田電機工業所
ケア・リフォーム事業部

鹿児島県指定
福祉用具貸与・特定福祉用具販売事業所
介護保険事業所番号4670600396

危ない!

気をつけて! 石油ストーブ・ファンヒーターの火災事故

NITE (独立行政法人製品評価技術基盤機構) は、暖房器具が活躍する本格的な冬を迎えるにあたって、火災の発生が多い石油ストーブ・石油ファンヒーターの使用について改めて注意を喚起しています。2014年度から2018年度までの5年間で、暖房器具の事故の内、石油ストーブ・石油ファンヒーターによる火災が最多の321件。このうち35%が家屋などの全焼に至っており、死亡事故も50件で57人が亡くなっています。石油ストーブ・石油ファンヒーターの火災のほとんどは、使い方が原因です。特に、給油口キャップの閉め忘れや、締め付け不良で引火するケースが目立ち、ガソリンの誤給油も多いのです。また、洗濯物などの可燃物が接触して発火する事故も多発。こうした事故の多くは、高齢者のみの世帯で起きており、家族や介護職など周囲の人が配慮、注意を呼びかけることも大切だと伝えています。



給油口キャップの締め方が不十分だったなどで、灯油が漏れて引火した火災の例



消火せずに給油して、灯油が漏れ引火 (イメージ)



消火後に燃焼筒の温度が高温になっており、灯油がかり引火 (イメージ)



キャップは
きっちり締めて

手ごたえと音で確認

事故予防の心得

①給油する前に必ず消火する

②給油後は給油口キャップをしっかり
締め、灯油が漏れないことを確認
してから本体にセットする

③灯油は専用容器に入れ、ガソリンと
別の場所に保管。ラベル表示で区別し
誤給油を防ぐための対策を徹底する

④周囲に可燃物を置かない
特に衣類などを乾かさない

⑤就寝する前に必ず消火し、
完全に消えたことを確認する



(NITE (ナITE) 独立行政法人
製品評価技術基盤機構HPより)

介護保険住宅改修・福祉用具機器のレンタル・販売はおまかせください!

車いす 特殊寝台 (介護ベッド) 歩行補助つえ 設置型手すり スロープ 歩行器 トイレ用フレーム

昨年10月の暖家の記事が好評でしたので再度登場です。介護サービス質の向上研修会（講師：株式会社 安全な介護 代表取締役 山田滋氏）の資料を参考に作成しています。

転倒事故は防げるか？

～新しい転倒骨折事故防止対策～

事故は複数の原因が絡み合って（複合要因で）起こる！

利用者がなぜふらついたのか？

- ・疾患の影響
- ・障がいの影響
- ・体調不良
- ・服薬の影響
- ・機能低下
- ・認知症の影響
- ・服装・靴や福祉用具
- ・利用者の性格

介助方法は適切だったか？

- ・介護職の体調不良
- ・無理な介助動作
- ・動作しにくい服装や靴
- ・介護職の心のコンディション
- ・介護職の知識不足
- ・介護職の性格

安全な車椅子だったか？

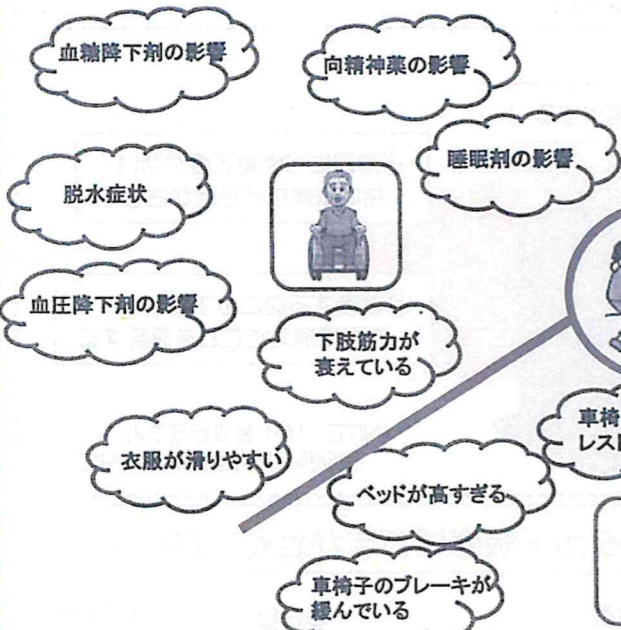
- ・使いにくい古い福祉用具
- ・高すぎるベッドなどの動作環境
- ・滑りやすい床
- ・浴槽内の階段
- ・居室の硬い床
- ・暗い居室
- ・設備の貧弱なトイレ
- ・立ち上がりにくい椅子



事故原因は1つではない。多角的に広い視点で原因を分析する。

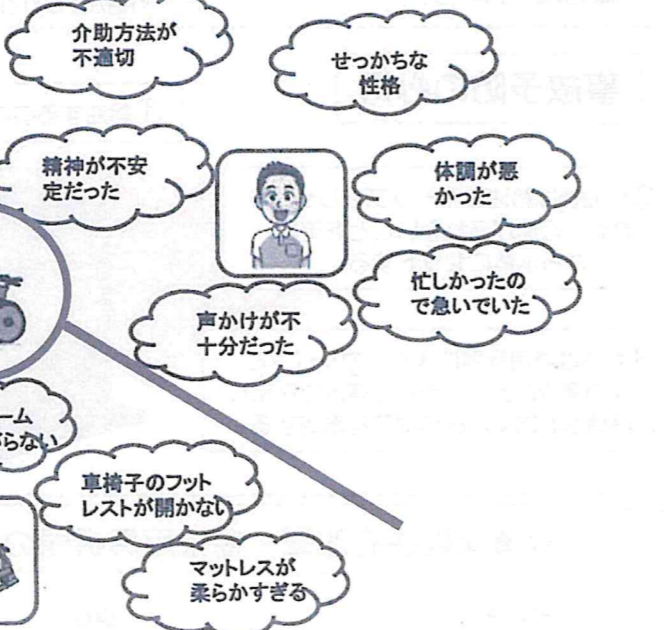
利用者側の原因

服薬の影響、疾患の進行など利用者それぞれの原因がある → 疾患・体調により変動する利用者の最新の情報を介護・看護する人が共有する



介護者側の原因

見守り不足が原因？ 防ぐべき転倒事故と防げない転倒事故を同等に扱っていないか？ → 無理な介助動作の改善 介護職員の対処には限界があるのでは？



設備・用具など環境の原因

管理体制、用具点検の習慣化、経年劣化機器・用具の見直しなど

機器・用具は新しいのが高価ということはない。安全性・効率を考慮し、購入に際しては、現場スタッフ（実際使用し、携わる人）の意見を反映させることは必須！

転倒の3割は薬が原因といわれています。

服薬の影響による転倒事故が多くの高齢者に起きています。高齢者の服薬見直しの実用書「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015」では服薬見直しの実践を主眼に置き、弊害のある服薬の中止の判断において、中止すべき根拠がはっきりしているのか？その代替薬は何が推奨されるのか？など服薬変更のリスクとメリットが比較できるようになっています。降圧薬、血糖降下剤、抗精神病薬、抗不安薬、睡眠薬などが、転倒や認知症の方のBPSD悪化を招かないよう、情報をアセスメントに活かしたいですね。



研修会で紹介された書籍

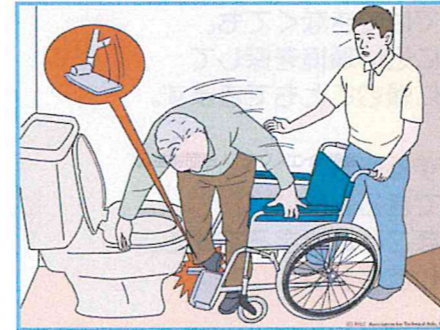
山田滋氏の著書

転倒のヒヤリハット！

(テクノエイド協会 ヒヤリハット例より)

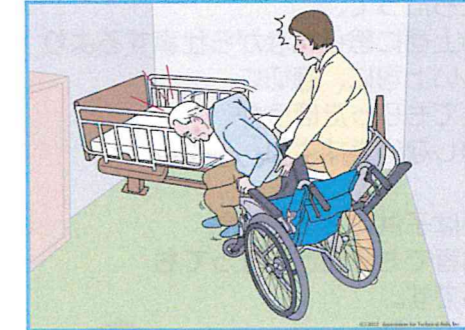
各事業所では危険予知活動「ヒヤリハット」などを報告し、介護職員の注意喚起や申し送り事項としますが、職員全員に行き渡らず、翌日事故（骨折）という例がたくさんあるようです。

トイレへ立位移乗をしようとした時、フットサポートが急に倒れ、前方に倒れそうになった。



解説 大きなケガにつながることも危険な事例。通常フットサポートを跳ね上げた時は、ある程度の固さで保持され容易に倒れませんが、メンテナンス不足などで倒れやすくなる場合もあります。常に安全な状態に福祉用具を維持することに注意を払うべきです。そもそもフットサポートの固定がゆるい機種もありますので、可能であれば機種を変更するなど、予防的な対策をすることもお勧めします。

スライディングボードの設置位置が悪く、すべり出した時点で前方へすべり落ちそうになった。



解説 スライディングボードは基本的には端座位が安定している人のための移乗用具です。座位の不安定な人に利用すると、このようなヒヤリ・ハットが起りやすいといえます。また安全な利用には、適切な移乗技術を身につけることが必要です。

お家は安全ですか？

- ・玄関・勝手口の段差は？
- ・浴槽の深さ・またぎは安全か？
- ・浴室の床は滑らないか？
- ・トイレの立ち座りはスムーズか？
- ・足元に電気コードはないか？
- ・ベッドの高さは自分に合っているか？

安全の再確認を！



- ・照明は暗くないか？
- ・階段・廊下は手すりがあるか？
- ・床材は滑りやすくないか？
- ・靴（スリッパ）は滑りやすくないか？
- ・カーペットの端めくれはないか？
- ・衣類は動きやすく、身に合っているか？
- ・服薬でふらふらしたことはないか？

転んでも骨折しにくい工夫



プロテクターパンツ

転倒による衝撃で大腿骨骨折等が起こるのを少しでも緩和するようパッドが入っています。

ヨガマットなどをベッド足元に

起き上がり直後のふらつきや、転倒に備え、ヨガマットのような低反発性があり、滑りにくい素材のものを。ホームセンターなどで格安で販売されています。



今回の研修は、介護施設の案件が中心でしたが、自宅での転倒にはいろいろな原因があります。すべる、けつまづく、落下などが原因で骨折、入院、その後介護施設へという方が多いですね。まず自宅の生活環境を安全に転びにくくすること、そして、転んでも骨折しにくい工夫が大切です。防災と同じで、起こる前の備えです。気がついたところから、まずひとつ改善してみましょう。